

神戸学院大学図書館 展示会通信80号

MERIDIAN

2026年7月7日発行

入場
無料

*開催時間や開催期間は変更になることがあります。
図書館HPにて、ご確認のうえご来館ください。

あ
の
物
語
の

ー
ー
テ
目
ー

どこかで聞いたあのフレーズ、

本名は打ち明けない。
だからここでもただ先生と書くだけで。
私はその人を常に先生と呼んでいた。

2026. 7. 1 (水)
～ 11. 1 (日)

神戸学院大学有頼図書館
本館3階エントランスコーナー

竹取物語

作者不明

平安時代に成立した物語。のちに成立した『源氏物語』には「物語の祖」とあり、仮名文での日本最古の物語文学とされる。内容は、竹取の翁によって竹の中から発見された女の子「かぐや姫」が、5人の貴公子と帝から求婚されるも、難題を出し失敗させて、十五夜に月の世界に帰るという話。羽衣説話などの伝承説話を用いた空想的部分と、求婚などの現実的部分をうまく調和させている一方で、当時の貴族社会に対する痛烈な風刺も含まれており、まさに物語の傑作といえる作品になっている。

参考：日本国語大辞典、日本大百科全書、全文全訳古語辞典

今は昔、竹取の翁といふ者ありけり。
野山にまじりて竹を取りつゝ、
よろづのことに使ひけり名をば
さぬきの造となおひける。



画像：パブリックドメイン

枕草子

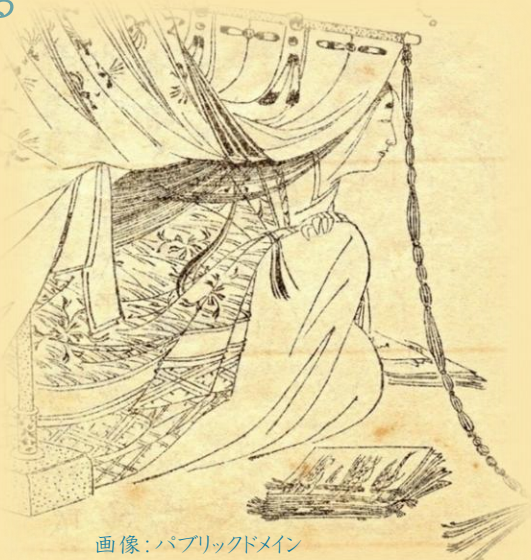
清少納言

春はあけぼの
やうやう白く
なりゆく山際
すこし明かりて
紫だちたる雲の
細くたなびきたる

平安時代中期に成立した随筆。作者の清少納言は、『源氏物語』の作者・紫式部と並び平安女流文学の双壁とされている。内容は、作者が一条天皇の中宮定子に仕えていたころの体験を主軸に、自然や人生に対する感想などを、エッセイのように記している。

文体は簡潔で、明るく、理知的な作者の性格をよく表しており、紫式部が描いた『源氏物語』の暗い世界感と常に比較される。「をかし文学」と呼ばれる独特の世界を作り、後世に多大なる影響を与えた。

参考：全文全訳古語辞典、デジタル大辞泉、ブリタニカ国際大百科事典



画像：パブリックドメイン

平家物語

作者不明

鎌倉時代前期に成立した軍記物語。琵琶の伴奏で『平家物語』を語る「平曲」として、琵琶法師によって語られ、文字の読めない庶民を中心に広く流布した。前半部では平家一門の興隆と栄華、後半部では滅亡する平家の悲劇的な運命が、平清盛を中心に描かれている。冒頭部分で「盛者必衰の理（勢いの盛んな者も必ず衰えること）」の憂いを踏まえながら、勇ましい合戦を主題としており、「あわれの文学」として独自の風情を作り出している。

参考：日本国語大辞典、日本大百科全書、デジタル大辞泉

祇園精舎の鐘の声
諸行無常の響きあり
娑羅双樹の花の色
盛者必衰の理をあらはす
おごれる人も久しからず
ただ春の夜の夢のごとし

画像：バブリッドメイン

こころ

夏目漱石

大正時代、夏目漱石が書いた長編小説。
前半部は、謎の多い「先生」に傾倒している「私」の視点で描かれ、後半部では、自殺した「先生」の遺書からその謎が解明していくという構成になっている。
漱石文学の根本の主題である愛とエゴイズムの問題が、自己否定に至った「先生」の苦悩を通じて描かれている。
明治的倫理を反映させた時代精神と、人間性に対する洞察を徹底させた傑作である。

参考：日本大百科全書、デジタル大辞泉

私はその人を常に先生と呼んでいた。
だからここでもただ先生と書くだけで
本名は打ち明けない



夜明け前

島崎藤村

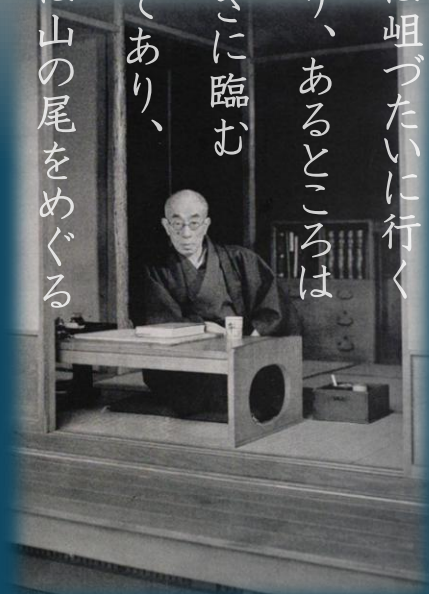
昭和に書かれた島崎藤村による長編小説。

1929年(昭和4)から1935年(昭和10)にかけて

年4回『中央公論』で連載されていた。木曾馬籠宿の旧家の当主・青山半蔵の数奇な生涯を中心に、幕末維新の動乱期を描いた歴史小説。青山半蔵のモデルは藤村の父正樹とされている。藤村が一貫して追求してきた宿命的な家系と、その原点に位置する父の問題を通じて、日本の近代化や文化の連続性の問題を考察した大作。

参考：日本大百科全書、デジタル大辞泉

木曾路はすべて山の中である。
あるところは岨づたいに行く
崖の道であり、あるところは
数十間の深さに臨む
木曾川の岸であり、
あるところは山の尾をめぐる
谷の入り口である。



画像：国立国会図書館「近代日本人の肖像」
(<https://www.ndl.go.jp/portrait/>)

— 展示の様子 —



— 編集後記 —

「吾輩は猫である。名前はまだ無い。」この一文を聞いたほとんどの人が「夏目漱石」の名前を思い浮かべるのではないのでしょうか。現代にも残る名作文学には、表紙を開いたその一行目から人々を引き付ける魅力を持った作品が多くあります。第80回ギャラリー展では、古くは平安時代「枕草子」から、大正時代の「こころ」など、現代でも人々の記憶に残る「書き出し」が印象的な作品を集めてみました。今回展示している資料は普段、閉架資料として閲覧が制限されているものになります。この機会に楽しくご覧ください。

神戸学院大学図書館展示会通信 Meridian第80号

2026年7月7日発行

発行・編集：神戸学院大学 有瀬図書館

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518

TEL→078(974)4584 E-mail→pub-lib@j.kobegakuin.ac.jp

ホームページURL→<https://opac.kobegakuin.ac.jp/>



図書館には、
ご紹介した文豪の本
がたくさんあります！
是非借りていって
くださいね